文化財指定物件概要

|  |  |
| --- | --- |
| 指定区分 | 広島市指定重要有形文化財（歴史資料） |
| 名　称 | 1945年8月6日松重美人撮影広島原爆被災写真ネガフィルム原板 |
| 所在地 | 広島市中区土橋町7番1号 |
| 所有者 | 中国新聞社 |
| 員　数 | ５点 |
| 概　要 | 人類史上最初に原子爆弾が投下された1945年（昭和20年）８月６日に、中国新聞社写真部に所属し中国軍管区司令部報道班カメラマンでもあった松重美人氏が、広島市内における被爆直後の市民の姿を撮影した写真ネガフィルム原板である。  （内容）  １　御幸橋西詰全景（爆心地から約2.2キロ）  ２　御幸橋西詰の罹災者（爆心地から約2.2キロ）  ３　翠町の自宅兼理髪店内（爆心地から約2.7キロ）  ４　翠町自宅前の西消防署皆実出張所（爆心地から約2.7キロ）  ５　皆実町二丁目の広島地方専売局前（爆心地から約2.3キロ） |
| 文化財的価値 | 本資料は、広島市の歴史上最も重要な事象の一つである1945年（昭和20年）８月６日の米国による原子爆弾投下当日に撮影された原爆記録写真である。同日に撮影され現存する15枚の中で、被災直後の街や市民の状況を通じて、原爆被害の悲惨さを伝える唯一のものであり、被爆の実相を将来にわたり継承していく上で欠くことのできない貴重な写真ネガフィルムとして、根源的な価値を有している。 |